

清荒神社きよしらくわうじんのやしらは京極きやうごくの東荒神口ひがしくわうじんにあり、祭る所八面八臂の荒神なり。初は摂州勝尾山清かちをさんきよしに鎮座す、後陽成院勅し給ひて文祿年中五条坊門油小路あぶらこうぢの西にあり、其後北關に近からんためとて此地に移さる。〔古は此ほとりを近衛河原このゑといふ、此宮勸請より荒神口と呼ぶ〕